

取付説明書 MDA-7755J

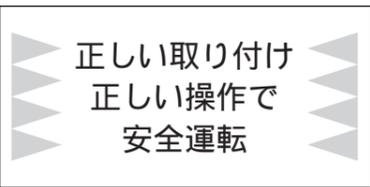


MDヘッドユニット

68P01149K73-O

安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

ご使用前に、この取付説明書と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
この取付説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしない
分解や改造は、事故・火災・感電の原因になります。



ヒューズ交換は容量を守る
ヒューズ交換は、必ず規定容量（アンペア数）を守ってください。
規定容量以上を使用すると、火災の原因となります。



配線作業は、バッテリーのマイナス端子を外してから行う

配線作業は、バッテリーのマイナス端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らない

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対におやめください。コードの電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



取り付け・アース接続にはブレーキ類のボルト・ナットは使わない

ステアリングやブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルトやナットは、取り付け・アース接続に絶対に使用しないでください。これらを使用すると制動不能や発火の原因となります。



小物類は幼児の手の届かないところに保管する

小物類 ネジなどは幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



DC12Vマイナスアース車以外に使用しない

DC12Vマイナスアース車専用です（分からない場合は、ディーラーで確認してください）。守らないと火災などの原因となります。



コード類は、運転操作の妨げとならないようにまとめる

コード類は取付説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないようまとめてください。ステアリングやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。



運転のじゃまになるところには取り付けない

前方の視界を妨げる場所や運転操作を妨げる場所（ステアリング・シフトレバー等）など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

取り付け・配線は、専門家に依頼する
本機 の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ず お買い上げの販売店 に依頼してください。



通風孔や放熱板をふさがない
通風孔や放熱板をふさがないでください。通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



付属の部品を指定通りに使い、しっかりと取り付ける

必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器 内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。



水のかかるところ、湿気の多いところには取り付けない

水のかかるところ、湿気や埃の多いところへの取り付けは避けてください。本機 に水や湿気・埃が混入すると発煙や発火の原因となります。



正しい接続をする
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となります。



コードを挟まないように引き回す
シートレールなどの可動部に配線を挟み込む、突起部に当たるなどしてコードを傷めないようにしてください。断線やショートにより、事故や感電・火災の原因となります。



車両雑音から守るために次のことに注意してください。
・アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。
・本機や本機からのコードを車両配線から離す。
・バッテリー電源コードとPINコードは離す。
・ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。

1. はじめに

ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」を販売店から入手してください。動作確認の際に本機の操作を行いますので、取扱説明書も必ずお読みください。組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。不明な点はお買い上げの店/インフォメーションセンターにお問い合わせください。

1 付属部品を確認し、工具/取り付け情報をそろえる。

電源コード



PIN接続コード



x 2

サラネジ (M5 x 8)



x 4

バインドネジ (M5 x 8)

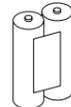


x 4

リモコン



電池 (単4)



2 車を安全で平坦な場所に停める。
パーキング・ブレーキをかけ、イグニッション・キー（エンジン・キー）を抜く。

2. 外す

コンピューターが装着されている車は、バッテリーの⊖端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。一部の車種（外国車など）では、バッテリーの⊖端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。

1 バッテリー⊖端子を外す。

2 灰皿、小物入れなどを外し、パネル（インパネ）を外す。

3 車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。

4 オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。（ブラケットは、4. 取り付ける 1 で利用します。）

3. 接続する接続するごとに [OK] に✓点をつけてください。

注意 正しい接続をする
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

接続の際は、コードに付いているラベルや説明書を確認しながら、注意して行ってください。音声出力ケーブルを接続する時は、コード端子の色とターミナルの色を合わせてください（左信号が白、右信号が赤）。
スピーカーの接続
・純正のスピーカー用コードを使う場合、左右のコードのマイナス側が共通になっているものには使用できません。
・スピーカーは、インピーダンスが3.2～8 のものをお使いください。

1 裏面の接続図を参照して接続をする。

2 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻く。

3 ヘッドユニットに電源コードを接続する。
「カチッ」と音がするまで差し込む。

4 正しく接続されているか確認する。
✓点もれているところはないか。

5 バッテリー⊖端子を接続し、イグニッション・キーをONにして動作を確認する。
本機の電源が入るか（イルミネーションが点灯するか）。

6 確認が終わったら電源を切る。

7 イグニッション・キーを抜いて、バッテリー⊖端子を外す。



お問い合わせはインフォメーションセンターへ
〒141-8501 東京都品川区西五反田1丁目1番8号
FAX: 03-3494-1767 TEL: 03-3779-0711
電話受付時間 平日 9:30～12:00 13:00～17:00
電話は混雑が予想されます。FAXがハガキをおすすめします。

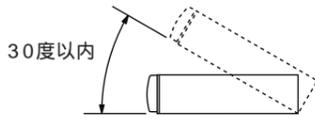
アルパイン株式会社
Designed by ALPINE Japan
Printed in Korea (S)

4. 取り付ける

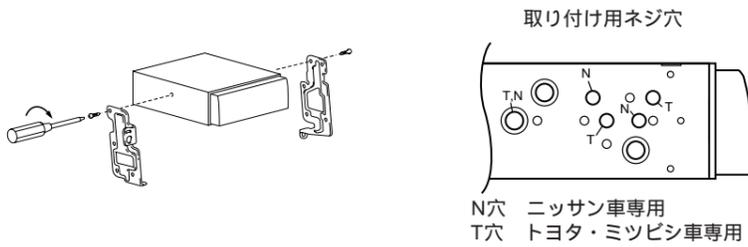
取り付け場所について

ディスプレイ開閉の際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を設定してください。

Memo 水平に対して30度以内に取り付けてください。



1 本機にブラケットをしっかりと取り付ける。



2 「ブラケットと一体になった本機」を車両にしっかりと取り付ける。

3 インパネを取り付ける。

4 コード類を固定する。
シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。

5 バッテリー端子を接続する。

5. 確認する

1 イグニッション・キーをONにして、取扱説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。

2 ホーン(クラクション)、ストップ・ランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

6. 他製品との接続

組み合わせによって底面にあるシステム・スイッチを切りかえる必要があります。

1 システム・スイッチを理解する。

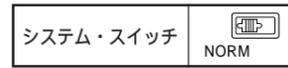


本機にCDA-5755などのイコライザーを接続するときは、「EQ/DIV」側に切りかえる。

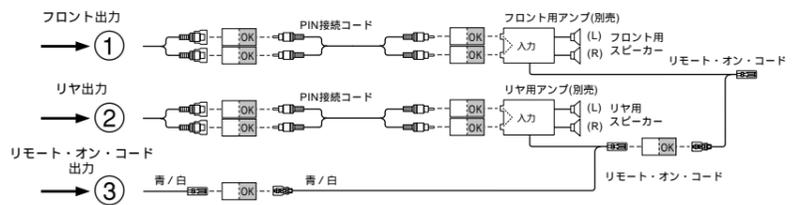
切りかえは次の手順で行ってください。

- 1) 電源コードを抜く。
- 2) 棒状のものを垂直に挿入する。
- 3) 指定のポジションに切りかえる。
- 4) 電源コードを接続する。

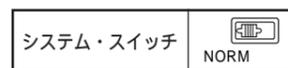
2.1 CDチェンジャーを接続する。



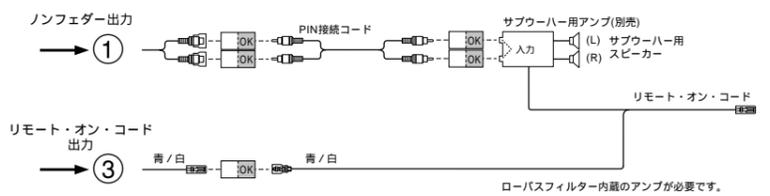
2.2 外部アンプを接続する。



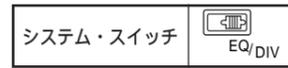
2.3 サブウーハーアンプを接続する。



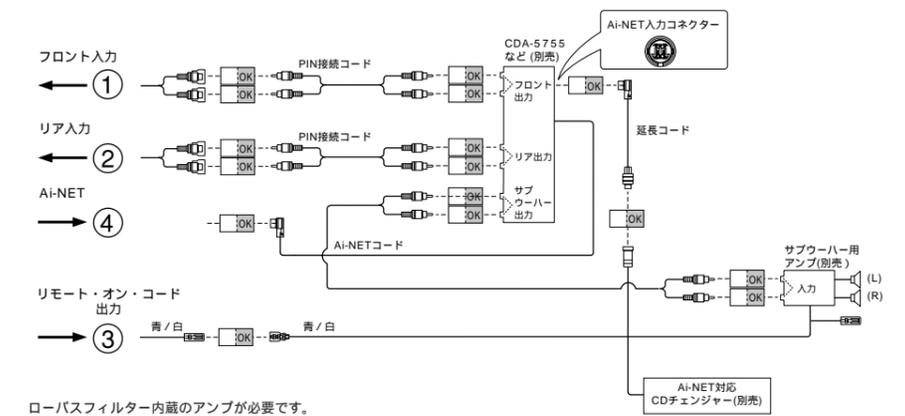
Memo 取扱説明書の「サブウーハーを接続する」(38ページ)を参照してください。



2.4 Ai-NET対応イコライザー / CDチェンジャー / サブウーハーアンプを接続する。



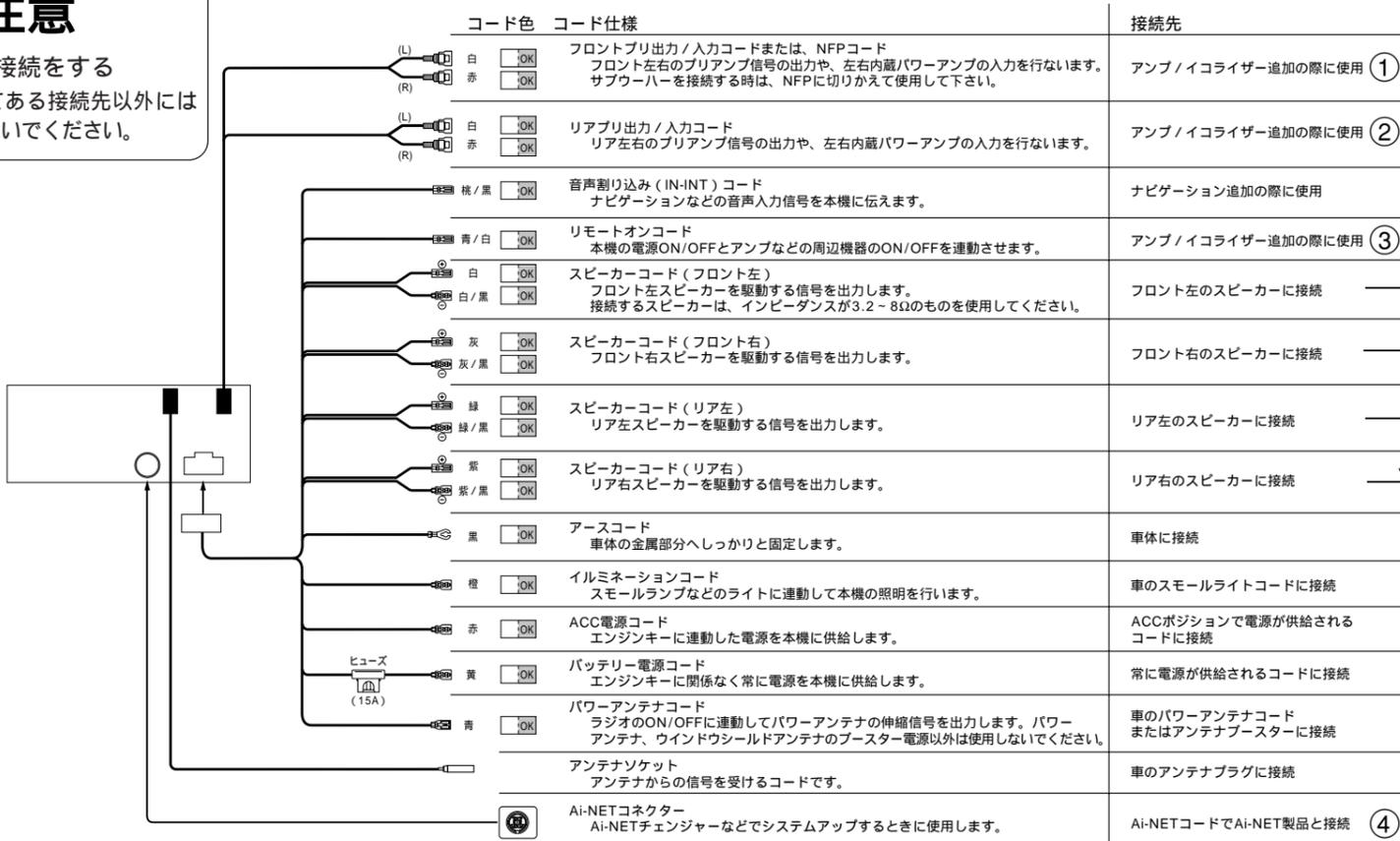
Memo 取扱説明書の「サブウーハーを接続する」(36ページ)を参照してください。ヘッドユニット側のBASS/TREBLE/LOUD機能は使えなくなります。イコライザー側で調整してください。



接続図

⚠️ 注意

正しい接続をする
記載してある接続先以外には
接続しないでください。



Memo 上記接続先の丸番号は、6. 他製品との接続で使用します。

